



新富士ロータリークラブ会報

The Magic of Rotary

— ロータリーのマジック —

R I 会長 スフィア・アーチ
第2620地区ガバナー 小泉 久司
新富士 R.C. 会長 斉藤 寛明
幹事 渡邊 勝英

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30~13:30



第1526回例会 (2025. 6. 10)



司会 和田 三郎会場監督
ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R.C. テーマ唱和
R I テーマ唱和

会長挨拶

米価高騰の背景と要因

米価の高騰は、複数の要因が複合的に影響した結果です。主な要因として、2023年の猛暑、インバウンド需要の増加、生産コストの上昇などが挙げられます。



2023年の猛暑の影響

2023年の記録的な猛暑は、米の品質に大きな影響を与えました。高温障害により、米が白濁したり、精米時に割れやすくなるなどの問題が発生し、結果として流通量が減少しました。とくに、コシヒカリなどの品種で被害が顕著であり、品質の低下が価格高騰の一因となりました。

インバウンド需要の増加

円安の影響もあり、訪日外国人観光客が増加し、外食産業での米需要が拡大しました。とくに、ファミリーレストランなどでの需要が増え、国産米の供給が逼迫する要因となりました。

生産コストの上昇

肥料や重油などの生産コストの高止まりも、米価高騰に影響を与えています。国際相場の上昇や円安が生産コストを押し上げ、農家の経営を圧迫しています。J A全農とちぎでは、コシヒカリの集荷価格を前年比で一俵あたり4,000円引き上げるなど、生産者の再生産価格を意識した対応がとられています。

生産調整の影響

政府による生産調整も、米の供給量を減少させる要

因となっています。もともと米は生産過剰の食材であり、農林水産省は転作を促すなどの政策を実施してきましたが、結果として供給量が絞られ、需要増加に対応しきれなくなっています。

イネカメムシの大量発生

2025年にはイネカメムシが大量発生し、米の不作を通じて価格を一段と押し上げる可能性も指摘されています。宇都宮大学農学部の松平尚也助教は、今夏も高温が予想される中でイネカメムシの被害が拡大すれば、秋に収穫量を確保できず米価格がさらに高止まりする要因になり得ると指摘しています。

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1526回	19	13	6		68.0%

《本日の欠席者》

望月 かおり 君 堀井 健治 君 渡邊 哲男 君
野村 ゆり子 君 和田 清昭 君

私のスマイル

斉藤 寛明 君 梅雨に入り、寒くなる日がありますね。健康に気をつけましょう。
長原 良成 君 カルキ シャム クマルさん、本日の卓話よろしくお願いします。
潮来 克士 君 本日の卓話シャムさん、よろしくお願いします。
高橋 孝行 君 本日の卓話、ホテルグランド富士の、カルキ シャム クマルさん、よろしくお願い致します。
和田 三郎 君 うつとしい梅雨の季節となりました。体調に気を付けましょう。

プログラム予定

6月28日(土) 期末親睦例会

6月29日(日) クラブ親睦ゴルフ

木村 憲司君 本日の卓話のグランドホテルのネパール国のカルキ シャム クマルさんです。いつもお世話になっている人です。よろしくお願いいたします。年齢は31才です。

本多 脩身君 雨ばかりで、早く晴天が見たいです。卓話楽しみにしています。

鈴木 清久君 雨の日が続きます。

小山 哲君 今年も、もう半分が過ぎようとしています。時が過ぎるのが年々はやくなります。

稲葉 邦文君 鈴木清久様、いつもいつもありがとうございます。ございます。



ロータリー・リーダーシップ研修会(RLI)の全パートを修了の潮来克士次年度幹事にRLI修了バッジが2620地区より送付顕彰されました。

卓話



日本で働いて

ホテルグランド富士勤務
カルキ シャム クマル 様



こんにちは。

初めましてネパール出身のカルキ シャム クマルと申します。2015年4月に日本へ来て、今年で10年目になります。本日皆様の前でスピーチする機会をいただき本当にありがとうございます。ネパールで6ヶ月間ぐらい日本語を勉強して日本へ来ましたが、最初のころは日本の生活に慣れるのは中々難しかったです。富士山日本語学校に通いながらコンビニや、お弁当を作る工場でアルバイトをしていました。自分の国で夜中に働く習慣がなかった私にとって、夜中のアルバイトは初めての経験でした。初めての出勤日、自分と一緒に働く日本人仲間の年齢を聞いておどろきました。何と72才でした。ネパールでは55～60才からは仕事を辞めてゆっくりするのは当たり前だからです。自分の国と全く違う世界のような日本で働く事の大変さや、言葉の壁をかんじましたが、日本の方々の優しさで段々日本語と日本の生活に慣れて来ました。ネパールで日本語勉強をしていた時先生から日本人は心が温かい人が多いと聞いた事がありました。ある日コンビニで働いてた時にお弁当を温め過ぎて、お客様に出せなくなってしまった事がありました。ですが、お客様は怒らずに頑張っただけという言葉を私にかけてくれました。その時の日本人のお客様が印象に残りました。また別の日に、市役所まで行く道がわからなくて車で通りかかった人に尋ねたら自分の車に乗せて市役所まで送ってもらった事もありましたが、ネパールでは考えられませんでした。このような体験をしながら、2年間富士の日本語学校で日本語を学んだあと、ホテルの仕事に興味があった為群馬県にあるホテルの専門学校へ入学しました。専門学校で日本のおもてなしや日本文学などを学びました。しかし夜中はアルバイトして朝学校に行き、昼は色々な所の就職セミナーに参加しながら次の就職先を探すのは中々辛い事でした。それに日本で外国人労働者を使っている会社が少ない為、就職先を見つけるのは大変でした。それでも先生方から色々な手伝いをして頂きながら4社から内定をいただきました。その中に1社熊本県のホテルがあり、前から九州へ行ってみたくていたのでそちらへ就職する事を決めました。



日本でアルバイトの経験がある私でしたが、新しい会社で社会人として責任を持って仕事する事や、会社の雰囲気慣れる事は中々大変でした。それから日本の色々な所に遊びに行ったり、色々な所で暮らしてみましたが、やっぱり富士市が一番好きでした。日本にいる間にもう一度富士市で暮らしてみたい気持ちが強かった為、また富士市に戻ってくる事が出来て嬉しいです。日本に来てから今まで大変なことや、辛い事もたくさんありました、けれども楽しい思い出もたくさんあります。時間をきちんと守る事、他人に迷惑かけない事、交通ルールをしっかり守る事、辛くても諦めずに頑張る事、これらは私が日本で学んだ素晴らしい事です。

本日はお時間いただき誠にありがとうございました。